

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 6 月 7 日 更新

事務事業名		農業経営者育成菊池農業高校後援会活動支援事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	6	産業の健康				所属部	産業振興部	課長名	坂本 卓博
	施 策	26	農業の振興				所属課	農政課	担当者名	今村 萌
	施策の柱	70	後継者の育成				所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 5	事業連番 10274	根拠法令			
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	県下唯一の農業経営者育成高等学校の指定を受け、後援会会則の中で出身市町村は在席生徒数で会費を負担し、後援会活動を支援する。昭和40年、県下唯一の「農業経営者育成高等学校」の指定を受け、後援会組織を立ち上げる。
【業務の流れ】	負担金の支払い事務
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	特に意見や要望は聞いていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
農業経営者育成高等学校として国の指定を受けた同校の後援会への活動支援として負担金を支出した。(菊池市、山鹿市共)		菊池農業高校後援会への活動支援としての会費負担	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア 活動回数	回		
⇒ イ			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
農業経営者育成菊池農業高校後援会	人	⇒ ア 合志市生徒数	人
⇒ イ		⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
農業就農者の育成を支援してもらう。	%	⇒ ア 卒業生(市内在住者)の就農予定者の割合	%
⇒ イ		⇒ イ	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 卒業生が就農することで、後継者ができ、後援会活動の成果となる。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	回		0	0	5	0	5	5	5	5	
	アイ										
② 対象指標	人		66	75	100	47	100	100	100	100	
	アイ										
③ 成果指標	%		2	2	3	2	3	3	3	3	
	アイ										
投資 入費 量	事業 内訳	財源	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			繰入金	千円							
	費		一般財源	千円	35	35	25	25	25	25	25
		(A) 事業費計	千円	35	35	25	25	25	25	25	25
			(A)のうち指定経費	千円	35	0	25	25	25	25	25
			(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	0	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	20	20	20	0	20	20	20	20
		(B)人件費計	千円	78	76	79	0	79	79	79	79
	トータルコスト(A)+(B)		千円	113	111	104	25	104	104	104	104

事務事業名	農業経営者育成菊池農業高校後援会活動支援事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 近年の就業構造の変化で、卒業生の就農者が減少している。また、卒業後、進学や研修を経て就農する者もいるため卒業生の就農者数のみを見て判断はできない。
	② 6年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 就農への確実な人数把握ができない。 ☒ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 優秀な農業従事者を得るため、後援会活動の向上余地はある。 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 農業後継者育成高等学校後援会会則で定められている。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 負担金の支払い事務であり、職員以外での対応ができない。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 農業後継者確保のための農業高校の後援事業であり公平である。 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 後援会会則の中で出身市町村は在席生徒数で会費を負担し、活動支援をおこなっている ので、行政での対応しかできない。 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

有効性については、優秀な農業従事者を得るため、後援会活動向上の余地はある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）			(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																										